

(2014年度)

### 3 世界史問題 (60分)

(この問題冊子は23ページ，4問である。)

#### 受験についての注意

1. 監督の指示があるまで，問題冊子を開いてはならない。
2. 試験開始前に，監督から指示があったら，解答用紙の右上の番号が自分の受験番号と一致することを確認し，所定の欄に氏名を記入すること。次に，解答用紙の右側のミシン目にそって，きれいに折り曲げてから，受験番号と氏名が書かれた切片を切り離し，机上に置くこと。
3. 監督から試験開始の指示があったら，この問題冊子が，上に記したページ数どおりそろっていることを確かめること。
4. 筆記具は，HかFかHBの黒鉛筆またはシャープペンシルに限る。万年筆・ボールペンなどを使用してはならない。時計に組み込まれたアラーム機能，計算機能，辞書機能などを使用してはならない。
5. 解答は解答用紙の各問の選択肢の中から正解と思うものを選んで，そのマーク欄をぬりつぶすこと。その他の部分には何も書いてはならない。
6. マークをするとき，マーク欄からはみ出したり，白い部分を残したり，文字や番号，○や×をつけてはならない。
7. 訂正する場合は，消しゴムでいねいに消すこと。消しきずはきれいに取り除くこと。
8. 解答用紙を折り曲げたり，破ったりしてはならない。
9. 試験時間中に退場してはならない。
10. 解答用紙を持ち帰ってはならない。
11. 問題冊子は必ず持ち帰ること。

1 次の文章を読んで、問(1～8)に答えなさい。

過去の建築・美術様式の再現は、政治的意図のもとに繰り返されてきた。目に見える分かりやすい手段によって過去の威光を纏まとおうとしたと言える。

800年にサン・ピエトロ聖堂で( 1 )から( 2 )の帝冠を授けられたカール大帝は、古代末期のキリスト教皇帝の聖堂建築に擬した聖堂を造営した。たとえば、( 3 )にはカール大帝の壮麗な宮廷に付属する礼拝堂が建造されたが、その構造は( 4 )にユスティニアヌス帝が建てたサン＝ヴィターレ聖堂を模したものである。なお、( 3 )には( 5 )人神学者アルクインなどが招かれ、古代文化復興がはかられた。

シチリアで育ち、教会と対立して古代ローマ帝国の再興を目指した神聖ローマ皇帝( 6 )は、キリスト教化される以前のローマ皇帝アウグストゥスに自らをなぞらえた胸像を残している。

造形における偉大な過去の意図的再現は、近代国民国家の成立時期に顕著である。

1861年、( 7 )とローマ教皇領を除いた全イタリアの代表がトリノで国会を開催し、( 8 )を王とする王国が成立したイタリアにもそうした例を認めることができる。同国は( 9 )年から7年間ほどフィレンツェに首都を置いたが、その間、フィレンツェではゲッソーを潰して、その一帯に15世紀フィレンツェ風(A)の街並みをつくりあげたのである。15世紀フィレンツェこそイタリア・ルネサンス文化の中心であった。

イギリスではヴィクトリア女王治下の19世紀中葉からゴシック様式(B)の復興運動がおこるが、このいわゆるゴシック・リヴァイヴァルは大英帝国黄金時代と無関係ではない。同時代のロマン主義的な中世趣味にくわえて、地中海文明とは違う独自の国民文化の象徴(C)としてゴシックは重要な意味を有していたのである。この時代にロンドンをはじめとして、オクスフォードやケンブリッジにも数多くのネオ・ゴシック様式の建造物がたてられ、今日我々が持つイギリスのイメージが確立された(D)。イギリスの中世風の街並みの多くは実のところ、近代の所産なのであった。

同様に19世紀ドイツにおいても、ゲルマン民族文化の発露として中世が称揚された。ワグナーもゲルマン神話を題材に多くの作品を生み出している。ワグナーと親交の深かったバイエルン王ルートヴィヒ2世が、中世世界の具現化としてノイシュヴァンシュタイン城を造営したことは有名である。19世紀にはまた、ドイツ最大のゴシック聖堂であるケルン大聖堂の西正面ファサードがようやく完成をみた。フリードリヒ1世や2世を輩出した中世ドイツ皇帝権の頂点である(10)朝が造営を開始した同聖堂は、ドイツ民族の誇りとなるべきだったのである。

ところで、偉大な過去のモニュメントをそのまま再利用した例も少なくない。

(11)帝がコンスタンティノープルに建てたハギア=ソフィア聖堂は、ビザンツ帝国滅亡後、オスマン帝国第7代スルタンの(12)によってモスクとなっている。聖堂から十字架が排除され、メッカの方向を示すくぼみであるミフラーブが加えられたが、建物自体はそのまま用いられた。オスマン帝国においても格式の高いモスクの一つとされ、オスマン帝国内でその後建造された多くのモスクのモデルともなった。

一方で、重要な宗教施設を破壊した上に新たに造営することによって、その場所自体が有している権威を利用しようとしたケースも多い。

アステカ文明の中心地テノチティトランは壮麗な石造都市であったが、1521年、コンキスタドールの(13)によって破壊しつくされた。この破壊によって切り出された石材を使用して、今日のメキシコ・シティーが築かれ、アステカの栄光は抹殺されたかに見えた。しかし20世紀に入って、この都市の大聖堂脇から巨大な神殿の一部が発掘され、大聖堂の下に神殿の遺構があることが判明している。すなわち大聖堂は神殿の真上に建造されたのである。

インカ文明の中心クスコも、(14)年にコンキスタドールによって破壊されている。そして、ピラコチャ神殿があった場所には100年近くかけて豪壮大聖堂が建造された。内部には、現在の(15)にあるポトシ銀山の銀をふんだんに用いた堂々たる祭壇が置かれている。

問1 空欄(1~15)にもっとも適切なものを選択肢(a~e)から1つ選びなさい。

- (1) a レオ3世                      b グレゴリウス1世  
c グレゴリウス7世      d インノケンティウス3世  
e インノケンティウス4世
- (2) a ローマ皇帝      b 神聖ローマ皇帝      c ゲルマン皇帝  
d フランク王      e イタリア王
- (3) a ヴォルムス                      b ランス      c マインツ  
d レーゲンスブルク      e アーヘン
- (4) a ミラノ                                      b ローマ      c ナポリ  
d コンスタンティノーブル      e ラヴェンナ
- (5) a イングランド      b フランス      c イタリア      d ギリシア  
e デンマーク
- (6) a ルートヴィヒ1世      b ハインリヒ1世      c オットー1世  
d フリードリヒ1世      e フリードリヒ2世
- (7) a ナポリ                      b サルデーニャ      c シチリア  
d ヴェネツィア      e ミラノ
- (8) a カルロ=アルベルト      b ヴィットーリオ=エマヌエーレ2世  
c カヴール                                      d ガリバルディ      e マッツイーニ
- (9) a 1865      b 1866      c 1868      d 1870      e 1871
- (10) a ザリエル                      b ザクセン                      c ルクセンブルク  
d シュタウフェン      e ロートリンゲン
- (11) a ユスティニアヌス                      b テオドシウス  
c デイオクレティアヌス      d リキニウス                      e エリアヌス
- (12) a オスマン1世      b バヤジット1世      c メフメト2世  
d セリム1世      e スレイマン1世
- (13) a ピサロ      b コロンブス      c トスカネリ      d カブラル  
e コルテス
- (14) a 1519      b 1521      c 1530      d 1533      e 1545

- (15) a ボリビア    b パラグアイ    c ウルグアイ    d ペルー  
e エクアドル

問2 下線部(A)と直接関係のない絵を選択肢(a～e)から1つ選びなさい。



問3 下線部(B)と直接関係のない建築を選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a パリ大聖堂      b アミアン大聖堂      c シャルトル大聖堂
- d ピサ大聖堂      e カンタベリ大聖堂

問4 下線部(C)と直接関係のない人物を選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a ハイネ      b ユーゴー      c ワーズワース      d ヘルダーリン
- e イプセン

問5 下線部(D)ともっとも関係の深い事項を選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a 医学      b 法学      c 神学      d 化学      e 数学

問6 下線部(E)と直接関係のない楽曲を選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a 「タンホイザー」      b 「ニーベルングの指輪」
- c 「展覧会の絵」      d 「さまよえるオランダ人」
- e 「ニュルンベルクのマイスタージンガー」

問7 下線部(F)に関する文のうち、誤っているものを選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a ピラミッドを建て、象形文字を用いた。
- b 神官階級が神裁政治をおこなっていた。
- c メキシコ高原で発展した。
- d 鉄器を持っていなかった。
- e 太陰暦を使用していた。

問8 下線部(G)に関する文のうち、誤っているものを選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a 駅伝制をともなった大道路網が整えられていた。
- b 文字のかわりに結び目で数量や意味をあらわすキープを特色とした。
- c キープは徴税や人口調査など国家の記録に用いられた。
- d チチメカ族が中心となってインカ文明を築いた。
- e インカとは「太陽の子」を意味する。

2 次の文章を読んで、問(1～10)に答えなさい。

18世紀後半にイギリスから始まった、工業における技術革新の連鎖反応<sup>(A)</sup>によって、モノの生産は道具によるものから機械によるものになり、安価な商品が大量に生産できるようになった。これを産業革命という。また、交通手段も飛躍的に発展<sup>(B)</sup>したため、材料や製品の迅速な輸送も可能になった。このような生産と流通における技術革新は、経済や社会を大きく変えた。

初期の産業革命(これを第1次産業革命という)は、( 1 )と蒸気力を新たな主要動力源にして、( 2 )工業や( 3 )で発展した。産業革命をいち早く開始したイギリスは、19世紀になると「世界の工場」と称されるほどの高い生産力を獲得した。しかし、19世紀後半以降、工業生産高でまずアメリカが、そして( 4 )がイギリスを追い抜いた。アメリカと( 4 )は、19世紀後半から始まる新しい工業や新技術の勃興(これを第2次産業革命という)に、いち早く対応したが、イギリスはなかなか対応できなかったからである。

第2次産業革命期には、( 5 )が新たな動力源として加わった。第2次産業革命期に起こった新興工業部門は、大きな設備投資を必要としたため、資本を提供する銀行と結びついた少数の巨大企業が市場を支配する傾向<sup>(C)</sup>が生じた。1870年代からのヨーロッパの長期的不況も、この傾向を促進した。

産業革命を皮切りにした工業化の過程のなかで、ヨーロッパ諸国では、労働者<sup>(D)</sup>が増大し、都市化が進行し、旧来の農業や小企業、手工業は圧迫された。生活基

盤を破壊された人々の中には、19世紀初期の( 6 )運動のような暴力的な反応を示す人もいたが、19世紀後半になると、労働力を必要とする地域や外国に移動して、生計を立てるようになった。このような人びとを移民として大量に受け入れたアメリカは、19世紀末に世界最大の工業国になった。

主要国の資本主義が発展し、相互競争が激しくなると、原料供給地や製品輸出市場としてだけでなく、本国からの資本投下先として、植民地の存在が重要視されるようになった。19世紀末になると、まだ植民地化されていない地域を占有しようとする動きが強まり、軍事力を背景に対外進出が行われた。こうして、アジア・アフリカは、列強の植民地・勢力圏獲得競争の舞台となった。

問1 空欄(1～6)に入れるのもっとも適切なものを、それぞれの選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- (1) a 風力    b 電力    c 石油    d 石炭
- (2) a 繊維    b 食品    c 奢侈品    d 木材
- (3) a 製鉄業    b 自動車工業    c 電機工業    d 重化学工業
- (4) a ベルギー    b フランス    c ドイツ    d ロシア
- (5) a 原子力    b 石炭    c 地熱    d 電力
- (6) a 囲い込み    b ラダイト    c チャーティスト  
d 「聖月曜日」

問2 下線部(A)に関して、新しい生産技術の発明者と発明した機械の組み合わせで正しいものはどれか。選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a ジョン=ケイ・ジェニー紡績機    b ハーグリーブズ・水力紡績機
- c アークライト・ミュール紡績機    d クロンプトン・綿繰り機
- e カートライト・力織機



問3 下線部(B)に関して、誤っている説明文はどれか。選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a ニューコメンは、交通手段に使われるようになる蒸気機関の実用化において、大きな役割を果たした。
- b ダービーは、ニューコメンの蒸気機関を改良して、効率のよい蒸気機関を発明した。
- c フルトンは、世界初の外輪式蒸気船を建造した。
- d スティーヴンソンは、1814年に実用蒸気機関車を開発した。
- e 1830年、マンチェスター・リヴァプール間で、蒸気機関車を用いた鉄道の営業運転が開始された。

問4 下線部(C)は一般に、企業の集中・独占といわれ、さまざまな形態のものがあった。正しい説明文はどれか。選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a 同一業種の企業が、独立性を保ったままで、価格・生産量・販路などを協定して、市場の独占をはかる仕組みのことを、カルテルという。
- b 多種にわたる企業が一つの資本のもとに統合され、市場の独占が図られる仕組みのことを、トラストという。
- c トラストを規制するために、イギリスでは、シャーマン法やクレイトン法など、さまざまな反トラスト法が制定された。
- d 同一業種の企業が、有力資本に吸収・合併され、市場独占が図られる仕組みのことを、コンツェルンという。
- e コンツェルンの有名な例は、スタンダード石油会社である。

問5 下線部(D)の結果、劣悪化した労働者の労働・生活環境を改善するために、労働者救済や社会改革のプランを出した思想家・運動家について、誤っている説明文はどれか。選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a オーウェンはイギリスの工場経営者で、自己の工場の労働者の福祉向上に努めただけでなく、工場法の制定や、労働組合の育成にも尽力した。
- b サン＝シモンはフランス人で、労働者と資本家の対立を重視するのではなく、人の能力が自由に発揮できる産業社会の実現をめざした。
- c プルドンはロシア人の社会主義者で、労働に基づかない私有財産を非難し、相互扶助による社会問題の解決をめざす無政府主義を主張した。
- d マルクスはドイツ人の社会主義者で、哲学・経済学・歴史学を総合して資本主義社会を分析し、社会主義への移行を必然とする革命論を説いた。
- e エンゲルスはドイツ人の社会主義者で、マルクスと協力して自分たちの思想を広めた。有名な『共産党宣言』も、マルクスとの共著である。

問6 下線部(E)に関して、19世紀末から20世紀にかけて移住したヨーロッパ出身の移民集団は、アメリカでは「新移民」と呼ばれ、「旧移民」と呼ばれる従来の移民・定住者集団と、出身地・宗教・習慣が異なっていた。この「新移民」の主な出身地はどこか。選択肢(a～e)から2つ選びなさい。

- a イタリア      b スウェーデン      c フランス      d ドイツ
- e ロシア

問7 下線部(F)に関連して、ヨーロッパ人によく知られていない土地への探検も活発に行われた。探検者名と探検地の組み合わせで、誤っているものはどれか。選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a リヴィングストン・ナイルの水源地帯      b スコット・北極
- c ヘディン・中央アジア      d アムンゼン・南極
- e スタンリー・コンゴ

問8 下線部(F)の結果、アフリカでは列強同士の衝突や、現地住民の反対運動が起こった。その地域名ないし事件名と、対立した二者の名前(国名ないし指導者名)の組み合わせとして、正しいものはどれか。選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a エジプト で ムハンマド=アフマド 対 イギリス
- b スーダン で ウラービー(オラービー) 対 ゴードン
- c エチオピア戦争 で メネリク2世 対 イタリア
- d ファショダ事件 で サモリ=トゥーレ 対 フランス
- e タンジール事件 で イギリス 対 フランス

問9 下線部(F)に関して、帝国主義政策の推進者と、その政策の組み合わせで、誤っているものはどれか。選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a デイズレーリ・アフリカ横断政策
- b セオドア=ローズヴェルト・「棍棒外交」
- c ヴィルヘルム2世・「世界政策」
- d ジョゼフ=チェンバレン・南アフリカ戦争
- e レオポルド2世・コンゴ自由国の建設

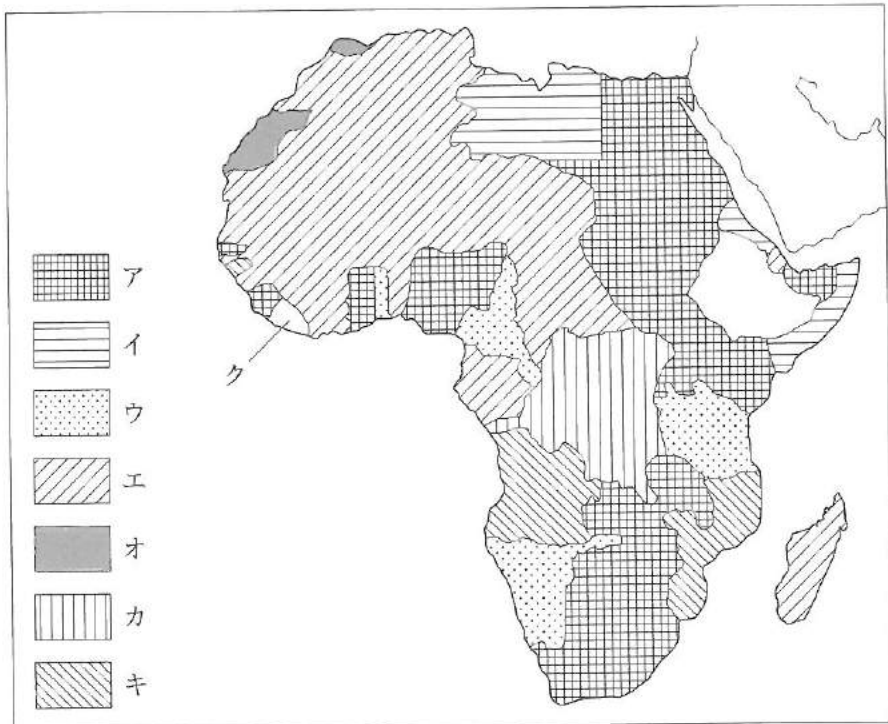
問10 下線部(G)の「列強によるアフリカ分割」を示している下記の地図に関して、問(①～④)に答えなさい。答はもっとも適切なものを選択肢(a～g)から1つ選びなさい。

- ① 20世紀初頭にイギリスの植民地もしくは保護領であった地域はどこか。  
a ア b イ c ウ d エ e オ f カ g キ
- ② 20世紀初頭にフランスの植民地もしくは保護領であった地域はどこか。  
a ア b イ c ウ d エ e オ f カ g キ
- ③ 20世紀初頭にドイツの植民地もしくは保護領であった地域はどこか。  
a ア b イ c ウ d エ e オ f カ g キ

④ 地図上のクは列強の「アフリカ分割」の時にも独立を維持した国である。

その国名は何か。

- a エチオピア    b ガーナ    c カメルーン    d スーダン  
e セネガル    f リビア    g リベリア



3 東欧革命に関する次の文章を読んで、問(1～16)に答えなさい。解答は、選択肢(a～e)からもっとも適切なものを1つ選びなさい。

東欧社会主義圏は、20世紀終わりの連鎖反動的政変により消滅した。東欧革命とよばれるこの変革は、ソ連支配および共産党体制に対する民主化運動と密接に関係している。

1955年のワルシャワ条約機構結成は、ソ連を中心とした東欧社会主義圏を確立

し、東欧諸国は、冷戦体制の中で東側の共産圏に属した。しかし、ソ連支配への反発は根強く、1956年には、ハンガリーのブダペストにおいて、反ソ・反政府・改革要求運動が起こった。このハンガリー反ソ暴動(ハンガリー事件)により、改革派の( 1 )が首相に就任した。ソ連は、この改革運動を軍事介入によって武力で鎮圧し、( 1 )は失脚後に処刑された。

チェコスロヴァキアにおいては、1968年に成立した( 2 )政権により自由化・民主化が推進され、この改革は、「ブラハの春」とよばれた。しかし、この民主化運動は、当時のソ連・東ドイツ・ポーランド・ハンガリー・ブルガリアの5カ国が軍事介入したために挫折した。この軍事介入を正当化するために唱えられたのが、( 3 )=ドクトリンである。( 3 )は、「社会主義国全体の利益は、各国の個別的な利益に優先する」と述べて、ソ連が他の社会主義国に対する内政干渉権を有するとしたのである。

ポーランドにおいては、1956年のポズナニ暴動が鎮圧され、民主化運動は弱体化した。民主化運動が再び活発となるきっかけは、1978年にポーランド人初のローマ教皇が誕生したことである。ローマ教皇となった( 4 )は、1979年に祖国のポーランドを訪問した。その翌年に、ポーランド自主管理労組「連帯」が成立する。ポーランド政府は、1981年に戒厳令を布告して「連帯」を非合法化したものの、「連帯」の活動は、その後も続いた。

東欧における民主化運動の転機となったのは、( 5 )年に、ゴルバチョフが、ソ連共産党書記長に就任したことである。ゴルバチョフは、ペレストロイカと新思考外交を掲げた。前者は、ソ連の政治・経済・社会・文化などの広範囲にわたる改革を意味し、後者は、冷戦に基づいた外交政策を転換するとともに、ソ連の東欧諸国に対する統制(( 3 )=ドクトリン)の撤廃につながるものであった。

ポーランドは、ゴルバチョフの新思考外交に敏感に反応した。ポーランド政府は、「連帯」などの勢力との妥協を模索し、内相のキシチャクと「連帯」委員長の( 6 )との間で円卓会議が合意された。この会議は、1989年2月に開催され、広範な問題が、2か月にわたって集中的に議論された。このような議論を経て、「連帯」は合法化され、同年6月には一部不完全ながら自由選挙が実施された。

「連帯」は、この選挙において圧勝し、ポーランド統一労働者党の一党支配に終止符が打たれた。

ポーランドの民主化運動に刺激され、東欧諸国の民衆は、自由化・民主化を求める激しい運動を展開するようになる。東ドイツの( 7 )は、このような動きに頑強に抵抗しようとした。しかし、1989年5月にハンガリーとオーストリアの国境にあった鉄条網が撤去され、東ドイツ国民は、ハンガリー経由で西側へ流出するようになる。東ドイツ政府は、この国民流出の波に抗することができず、同年11月には、東西ドイツの交通制限を解除するにいたった。東西ドイツの分断を象徴していたベルリンの壁も開放された。

ハンガリーにおいては、1989年6月に、ハンガリー事件当時の( 1 )の名誉回復がはたされるとともに、新たな政治・憲法体制を協議する円卓会議が開催された。同年10月には、新憲法が国会によって承認され、ハンガリー社会主義労働者党の一党支配に終止符が打たれた。チェコスロヴァキアにおいても、( 8 )などの活躍により、共産党体制を打倒する民主化革命が起こった。この革命は、ルーマニアのような流血事件にいたらなかったことから、滑らかな生地にたとえられて( 9 )革命とよばれる。

ポーランド、ハンガリー、チェコスロヴァキアにおいては、政権の移譲が比較的穏健に進んだ。これに対して、ルーマニアにおいては、1989年12月に、デモに対する無差別発砲により多数の犠牲者が出ると、デモがルーマニア全土に拡大した。発砲事件から10日もたたないうちに、( 10 )大統領夫妻が、新政権により処刑され、1965年から続いた独裁政権は、劇的な終末をむかえた。

このようにして、東欧諸国における共産党体制は、1989年にはいと短期間のうちに連鎖反動的に崩壊した。その後、ソ連の強い支配力のもとに維持されてきたワルシャワ条約機構も解消し、東欧社会主義圏は完全に消滅する。

問1 空欄(1~10)に入る語句はどれか。

- (1) a カダル    b コシュート    c ナジ=イムレ    d ホルテイ  
e メッテルニヒ

- (2) a ドプチェク    b ノヴォトニー    c パラツキー  
d ベネシュ    e マサリク
- (3) a アンドロポフ    b コスイギン    c チェルネンコ  
d フルシチョフ    e ブレジネフ
- (4) a パウルス3世    b ピウス7世    c ボニファティウス8世  
d ヨハネス=パウルス(ヨハネ=パウロ)2世    e レオ10世
- (5) a 1983    b 1984    c 1985    d 1986    e 1987
- (6) a ゴムウカ    b トロツキー    c ピウスツキ  
d ヤルゼルスキ    e フレサ
- (7) a アデナウアー    b エーベルト    c シュトレーゼマン  
d ヒンデンブルク    e ホネカー
- (8) a カフカ    b カミュ    c スメタナ    d ハヴェル  
e ブルースト
- (9) a オレンジ    b カーネーション    c ジャスミン  
d バラ    e ビロード
- (10) a ヴァルガス    b チャウシェスク    c バティスタ  
d フランコ    e ピノチェト

問2 ユーゴスラヴィアは、社会主義国でありながら、対外的には第三勢力の立場をとり、非同盟諸国の中心であった。ユーゴスラヴィアが、コミンフォルム(共産党情報局)から除名されたのは何年か。

- a 1948年    b 1949年    c 1950年    d 1951年    e 1952年

問3 ハンガリー反ソ暴動(ハンガリー事件)より後に起きた出来事はどれか。

- a アジア=アフリカ会議(バンドン会議)    b ガーナ独立  
c グアテマラ左翼政権の崩壊    d スターリンの死去  
e 東南アジア条約機構(SEATO)成立

問4 ソ連(共産圏)の拡大を防止するために、封じ込め政策をはじめたアメリカ大統領は誰か。

- a アイゼンハウアー      b ケネディ      c トルーマン
- d フーヴァー              e ローゼンベルグ

問5 「ブラハの春」より前に起きた出来事はどれか。

- a アジェンデ政権の崩壊      b 第3次中東戦争
- c 中華人民共和国の国連加盟      d ドゴールの退陣
- e バングラデシュ独立

問6 ゴルバチョフのペレストロイカにおける主要政策はどれか。

- a 「ヴ=ナロード」      b グラスノスチ      c ネップ      d 平和共存
- e 「雪どけ」

問7 ゴルバチョフの説明として誤っているものはどれか。

- a アフガニスタンからソ連軍を撤退させた。
- b アメリカとの間で中距離核戦力(INF)全廃条約を締結した。
- c ソ連最高指導者として初めて来日した。
- d ノーベル平和賞を受賞した。
- e ロシア連邦の初代大統領になった。

問8 1989年のマルタ会談において、ゴルバチョフとともに冷戦の終結を宣言したアメリカ大統領は誰か。

- a カーター      b クリントン      c ブッシュ(父)      d ニクソン
- e レーガン



問9 1991年に保守派による反ゴルバチョフ＝クーデタが起こった。このクーデタ打倒に活躍し、ゴルバチョフに代わって最大の実力者となった人物は誰か。

- a エリツィン      b ケレンスキー      c ストルイピン
- d プーチン      e メドベージェフ

問10 問9のクーデタと同じ年に起きた出来事はどれか。

- a 地球サミット(国連環境開発会議)の開催
- b 朝鮮民主主義人民共和国の国連加盟
- c パレスチナ暫定自治協定(オスロ合意)の成立
- d フジモリ政権の発足
- e ヨーロッパ連合(EU)の発足

問11 ソ連社会主義圏に属していたモンゴルも、社会主義体制から離脱した。国名がモンゴル人民共和国からモンゴル国に改められたのは何年か。

- a 1989年      b 1990年      c 1991年      d 1992年      e 1993年

問12 中華人民共和国においては、1989年に天安門事件(第2次)が起こった。この事件において、軍隊によって民主化運動を鎮圧した当時の首相は誰か。

- a 胡耀邦      b 朱鎔基      c 趙紫陽      d 鄧小平      e 李鵬

問13 ユーゴスラヴィアにおいては、1980年代に入ると民族対立がめだつようになり、冷戦終結の頃から、民族対立が激化した。この対立は、ユーゴスラヴィアの内戦と解体を招いた。このような過程における次の出来事を年代順に並べたとき、第3番目にくるものはどれか。

- a 北大西洋条約機構(NATO)軍の空爆
- b クロアチアとスロヴェニアの独立宣言
- c ティトーの死去
- d ボスニア・ヘルツェゴヴィナの独立宣言
- e ミロシェヴィッチ政権の崩壊

問14 21世紀にNATO軍の空爆を招いた出来事はどれか。

- a エルサルバドル内戦      b クルド問題      c ソマリア内戦
- d リビア内戦              e ルワンダ内戦

問15 21世紀の民主化運動により崩壊した政権はどれか。

- a スハルト政権      b ペロン政権      c ポル＝ポト政権
- d マルコス政権      e ムバラク政権

問16 問15の解答となる政権の説明として誤っているものはどれか。

- a アメリカおよびイスラエルを重視する外交政策を続けた。
- b イスラーム原理主義勢力を弾圧した。
- c シナイ半島の返還を実現した。
- d 前政権の経済政策を転換して社会主義化をすすめた。
- e 湾岸戦争において多国籍軍に協力した。

4 文章(A)～(C)は近代アジアの政治指導者の死に関するものである。これを読み、問(1～6)に答えなさい。解答は選択肢(a～e)からもっとも適切なものを選びなさい。

(A) 1925年3月12日、中国革命の指導者である( 1 )は、58歳で肝臓がんのために、北京で亡くなった。死に際して、同志にあてた遺書には、「革命なお未だ成功せず」という有名な一節が含まれていた。彼が亡くなった時期の中国は、国民革命運動の高揚期にあったが、清朝から引き継いだ負の遺産である不平等条約<sup>①</sup>は相変わらず中国を拘束し、国内には( 2 )と呼ばれる政治勢力が各地に割拠していた。国民革命の結果、新たな革命政権が( 3 )を首都として中国の全土を統一すると、( 1 )の遺体は1929年に北京から中山陵と呼ばれる広大な陵墓に移され、ここに安置された。今日でも大勢の参観者を集めている中山陵は、明朝<sup>②</sup>という王朝を樹立した( 4 )の陵墓のすぐ隣に位置している。

(B) 1948年1月30日、ヒンドゥー教徒とイスラーム教徒との融和を説いていた( 5 )は、<sup>③</sup>ニューデリーで凶弾に倒れた。犯人は、彼の立場に反発した急進的な( 6 )の青年であった。「インド独立の父」とも称された彼の遺体は、暗殺の翌日、ジャムナー川のほとりで100万人を越す群衆の前で荼毘<sup>だひ</sup>に付された。暗殺の前年には、彼が理想とした統一インドとしての独立ではなく、ヒンドゥー教徒を主体とするインド<sup>④</sup>と、イスラーム教徒によるパキスタンが2国に分かれて、イギリスから独立を果たしていた。しかし、( 7 )の帰属をめぐる両国の対立は激しく、戦争に突入した。

(C) 1944年11月10日、( 8 )は失意のなか、名古屋帝国大学病院でひっそり息をひきとった。1935年に反日分子に狙撃され重傷を負っていたことが命取りになった。彼は、日中戦争の最中、日本に対する抗戦を続ければ中国は滅びると考え、1938年12月に、抗戦の拠点である( 9 )を脱出した。そののち、1940年3月に、日本の占領地になっていた南京に親日政権を樹立したが、( 9 )

から期待したほどの同調者を得られず、そのため日本からも軽んじられる結果となっていた。これによって、清末から革命派の論客として知られ、1930年代には国民政府の指導者として( 10 )のライバルと目されるほどの存在であった彼の名声は、一挙に地に墮ち、死後においても民族の裏切り者として非難を浴び続けている。<sup>⑤</sup>

問1 空欄(1~10)に入るもっとも適当な語句を1つ選びなさい。

- (1) a 李鴻章    b 孫文    c 毛沢東    d 蔣介石    e 袁世凱
- (2) a 湘軍    b 藩鎮    c 郷勇    d 淮軍    e 軍閥
- (3) a 上海    b 南京    c 北京    d 武漢    e 広州
- (4) a 洪武帝    b 崇禎帝    c 永楽帝    d 康熙帝  
e 建文帝
- (5) a ネルー    b ジンナー    c アンベードカル  
d ガンディー    e スカルノ
- (6) a 仏教徒    b キリスト教徒    c イスラーム教徒  
d ヒンドゥー教徒    e ジャイナ教徒
- (7) a チベット    b カシミール    c ブータン    d カルカッタ  
e ネパール
- (8) a 李承晩    b 劉少奇    c 周仏海    d 汪精衛  
e 李鴻章
- (9) a 重慶    b 北京    c 昆明    d 西安    e 延安
- (10) a 袁世凱    b 張学良    c 蔣介石    d 孫文    e 毛沢東

問2 下線部①に関する説明として誤っているものを2つ選びなさい。

- a 中国が締結した不平等条約の主な項目の改定は、1949年の中華人民共和国の成立によって初めて実現した。
- b 関税自主権の回復は、南京国民政府の外交努力によって平和的に実現した。
- c 領事裁判権の撤廃は、第二次世界大戦の最中において、中国と同盟関係を結んでいた英米との間で合意が成立して実現した。
- d 最恵国待遇とは、条約締結国の一方が、将来、第三国に対して特権を与えた場合、自動的に元の条約締結国に対しても同様の特権を与えるという取り決めである。これが条約締結国の一方だけに義務づけられた場合、不平等条約の範疇に入る。
- e 1871年の日清修好条規は、日中間において締結された最初の不平等条約である。

問3 下線部②の時代に関する説明として誤っているものを2つ選びなさい。

- a 無学な庶民や子供でも本来その心のなかに本当の道徳心が宿っていると主張して、外面的な知識や修養にたよる朱子学を批判する学者があらわれた。
- b マテオ＝リッチらが中国にはいってキリスト教の布教をおこない、ヨーロッパの自然科学や軍事技術に関心をもつ士大夫層の一部がキリスト教を受け入れた。
- c モンゴル・青海・チベット・新疆は、中国内地とは異なって、藩部として理藩院に統括された。この王朝はこれら藩部の習慣や宗教についてはほとんど干渉しなかった。
- d 『古今圖書集成』や『四庫全書』など大規模な編纂事業をおこして学者を優遇したが、他方で反政府的な言論に対しては文字の獄で厳しく弾圧し、禁書をおこなって思想を統制した。
- e イスラーム教徒の鄭和による南海遠征は、インド洋からアフリカ沿岸にまでおよび、中国への朝貢を南海諸国に対してはたらきかけた。

問4 下線部③の説明として正しいものを1つ選びなさい。

- a バラモン教に各地の民間信仰が融合し、外来のキリスト教も加わって成立した。シヴァ神やヴィシュヌ神を中心とする多神教で、人々の日常生活に浸透した。
- b 神々への賛歌や儀礼をまとめたヴェーダを根本聖典として形成された。バラモンが自己の権威を高めるために複雑な祭式規定を発達させた。
- c この宗教の主要な神の一つは、破壊神や創造神など多面性をもち、また舞踏の神としてさまざまな踊りの姿で表される。
- d 万人は唯一神のもとに平等であると説き、偶像崇拜をきびしく禁じた。
- e バラモン教の祭式やヴェーダ聖典の権威を否定し、苦行と不殺生を強調した。

問5 下線部④の第二次世界大戦後における動向を示す文章として正しいものを2つ選びなさい。

- a この国の首相は、1954年、中国の周恩来首相とともに、領土・主権の尊重、相互不可侵、内政不干涉、平等互惠、平和共存の平和五原則を発表した。
- b この国は、1974年、パキスタンの核保有に対抗して核実験を成功させた。
- c ソ連は、1960年にこの国に対する経済援助を停止し、ソ連人技術者を引き上げた。ソ連との対立は公開論争に発展し、局地的な武力紛争も起こった。
- d この国の指導者は、国内の共産党とも協力し、中国との関係を強める政策をとっていたが、1965年の九・三〇事件を機に軍部が実権をにぎり、共産党は弾圧された。
- e この国は、ダライ=ラマの亡命以降、中国との関係が悪化し、1962年には国境地帯で中国との大規模な戦闘をおこなった。

問6 下線部㊸と同じように、「民族の裏切り者」(売国奴)として批判されている中国史上の人物を以下から一人選びなさい。

- a 岳飛    b 李自成    c 劉備    d 秦檜    e 項羽

